施工説明書

INAX

シャワートイレ付ポータブルトイレ

機能部：DT-4522Z
台座部：CWA-80

このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

注意	● この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。 ● 施工後は必ず試運転を行ってください。 ● お客さまに必ず本書と取扱説明書（保証書付）をお渡しください。お渡しするときは、使用方法をご説明ください。

安全のために守ってください！

ポータブルトイレを安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。
施工前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。

用語の説明

警告 ・・・ 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。

注意 ・・・ 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

⚠警告

- 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
  ※感電・火災の原因や、異常作動してケガをすることがあります。
- 本体内に水や洗剤を入れないでください。本体や電源プラグ部に水をかけないでください。
  ※感電・火災の恐れがあります。
- アースを確実に取り付けてください。
  ※故障や漏電のときに感電する恐れがあります。
  ※コンセントにアース端子がない場合は、電気工事店にご相談ください。
- バスルーム内など湿気の多い場所には、設置しないでください。
  ※感電・火災の原因となります。
- 傷んだ電源プラグやコンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
  ※感電・火災の原因となります。
- 上水道以外は使用しないでください。
  ※ぼうこう炎や皮膚の炎症、および機械内部の腐食により感電・火災を起こす恐れがあります。
- 濡れた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。
  ※感電の原因になります。

⚠注意

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
  ※電源コードが破損し、感電・火災の原因となります。
- 交流100V以外では使用しないでください。
  ※感電・火災の原因となります。
- 施工後の漏水点検を必ず行ってください。
  ※漏水により家財等を濡らす恐れがあります。
- お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。
  ※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす恐れがあります。

注意 1

- ナットの締付けは片利きのないように前後左右とくりかえし、少しづつ行ってください。
- 新取付ナットは、黒いゴム部分が上です。ゴム部分を上に向けて組み付けてください。

注意 2

裏フタはつやのある（コーティングされた）面を表にして取り付けてください。

電源の確認

- 電源はAC100V、最大定格580Wに適した電気配線をしてください。
- 電源コードの長さは2.5mです。
  コンセントは電源コードの届く範囲で、床面より高く水のかからない位置に設置してください。
- 必ずアース工事（第3種接地工事）を行ってください。
  アースターミナル付コンセント（フラット型）が便利です。また、プラグの数が多い場合は、アースターミナル付ダブルコンセント（フラット型）をご使用ください。

※配線工事は電気工事店にご依頼ください。
※施工が完了するまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。故障する恐れがあります。

使用する水は？

給水は必ず上水道を使用してください。
中水道や工業用水、井戸水などを使用すると電気部品や機械部品の耐久性が低下して、事故の原因となります。

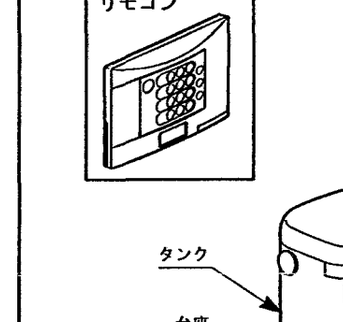
機能部を床に置かないで！

機能部（タンク）を設置する前は、絶対に機能部（タンク）を直接床に置かないでください。
※取付ボルトが折れる恐れがあります。

リモコンの取付位置は？

リモコンは使用する人が使いやすい場所に置き、マジックテープで固定すると便利です。壁に取り付ける場合は木ねじでブラケットをしっかりと固定し、できる限りリモコン受光部側の壁に取り付けてください。

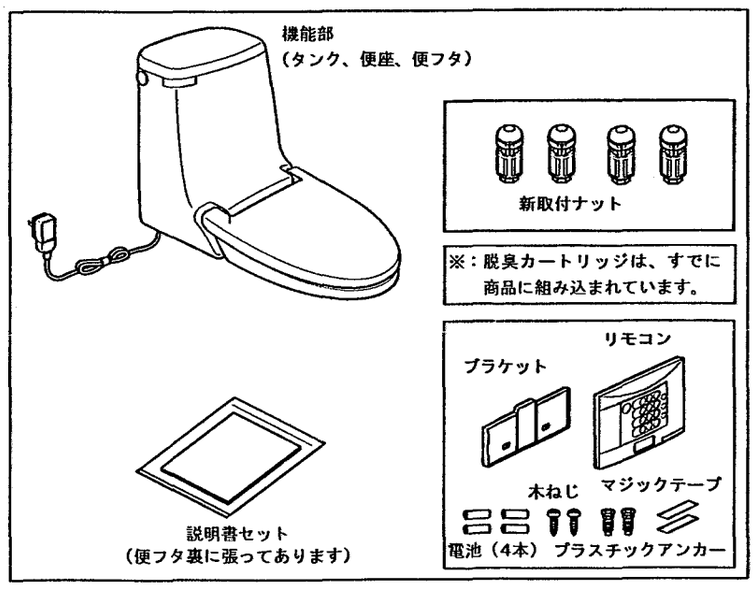
左側の壁にリモコンを取り付ける場合

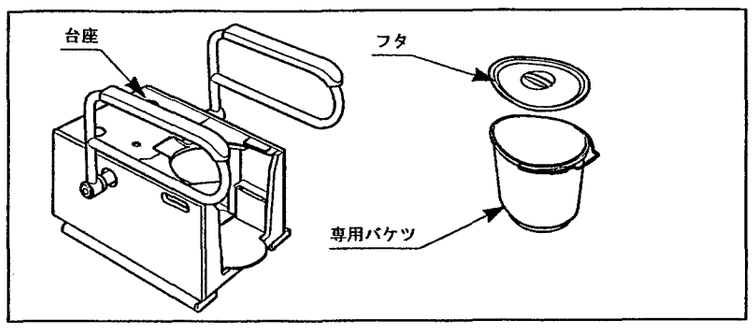


右側にリモコンを設置する場合

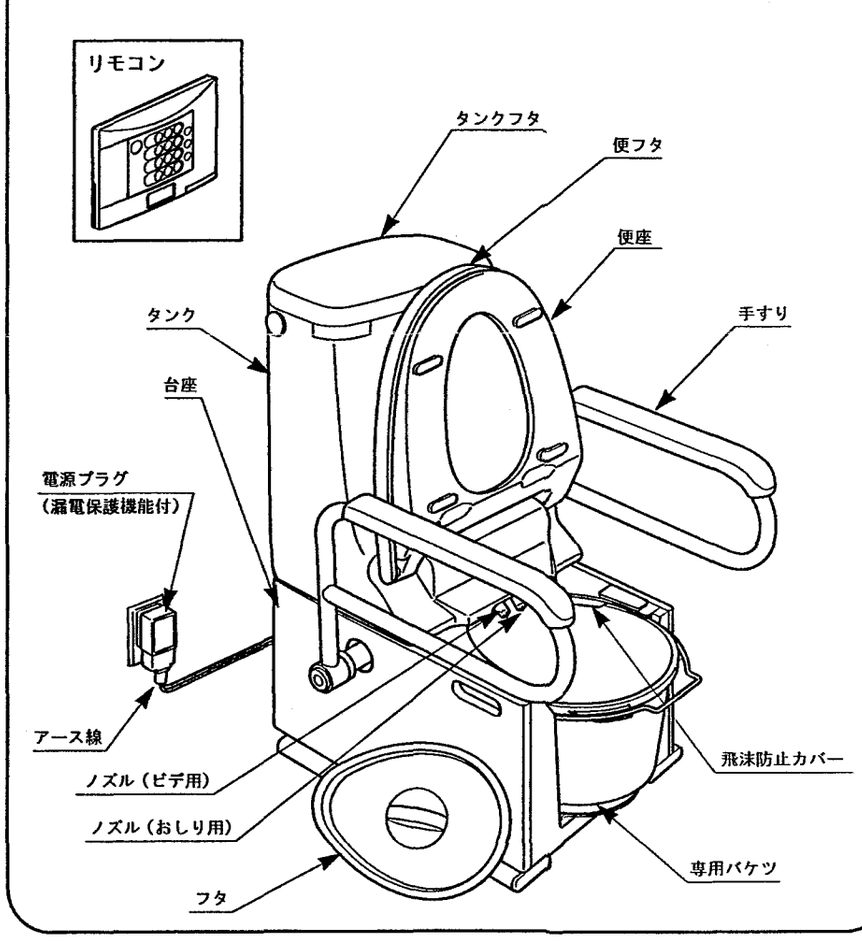
- 必要上、反対側の壁や机に取り付ける場合は、必ず取付位置で受信することを確認してから行ってください。
  また、リモコン受光部側の壁が洗面台などで便器から距離がある場合は、受信しない場合があります。このようなときは便器中心から1300mm以内に信号反射用のカーテン・ついたて等を設置してください。
  カーテン・ついたての寸法は高さ1100mm以上、幅はリモコン受光部からリモコン設置位置まで(W)を確保してください。（ただし、壁の仕上げ・色などの条件により多少異なりますのでご注意ください。）
- マジックテープで、リモコンを壁に取り付けないでください。リモコンが壁から外れ、破損する恐れがあります。

部品の確認（梱包内容を確認してください。）





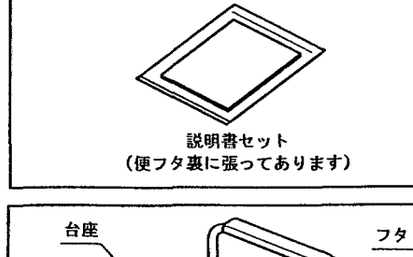
各部のなまえ



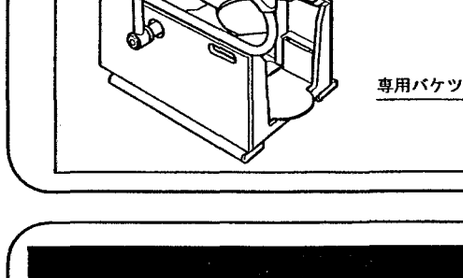
施工方法

1 機能部の取付け

(1) 台座から専用バケツを外します。

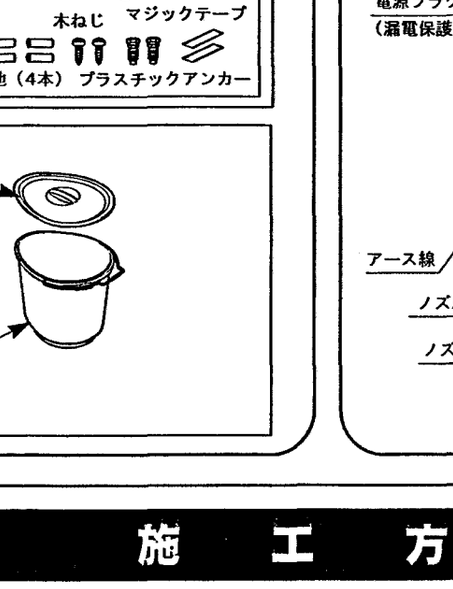


(2) 止めねじ1本を外して、台座から裏フタを外します。



(3) 手すりをはね上げます。

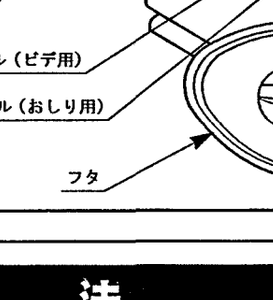
(4) 機能部下面にある固定ボルト4本と台座のボルト穴4個を合わせて機能部を設置します。



(5) 下図の要領で、新取付ナットで機能部を固定します。

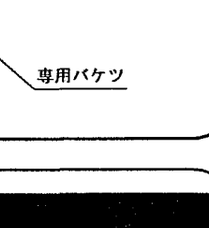
1 新取付ナットが開いていることを確認します。
もし、開いていない場合は、下図のように〝カチッ〟というまで引っぱって開きます。

2 新取付ナットを固定ボルトに通します。（注意1参照）



3 新取付ナットを上に押し込み、閉じさせます。

4 新取付ナットを手で回して、締め付けます。

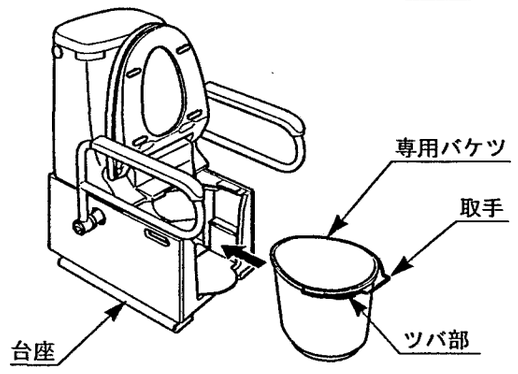


(6) 止めねじで裏フタを台座に固定します。（注意2参照）

商品・施工方法についてのお問い合わせは、(株)INAX　お客さま相談センター　☎ 0562-31-0793
お客さま相談センターは、平日　「9：00～19：00」対応、
土日・祝日「10：00～18：00」対応（年末年始、夏季休暇は除く）となります。

2 専用バケツの設置

便フタ・便座を開け、専用バケツの取手をツバ側にして台座の奥まではめます。 注意3参照



3 電源の接続

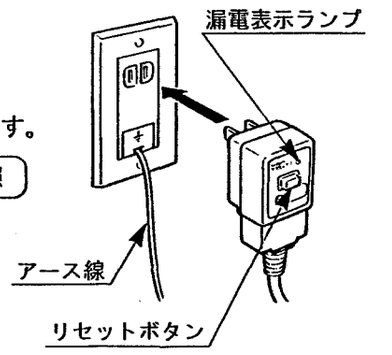
(1) アース線を接続します。

(2) 電源プラグをコンセントに差し込みます。

⚠ 警告 注意4参照

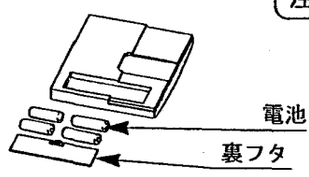
アースを確実に取り付けてください。
※故障や漏電のときに感電する恐れがあります。
※コンセントにアース端子がない場合は、電気工事店にご相談ください。

(3) シャワートイレ本体の電源/節電ランプが点灯していることを確認します。



4 リモコンのセット

(1) リモコンの裏フタを開け、電池（単三4本）を入れます。 注意5参照

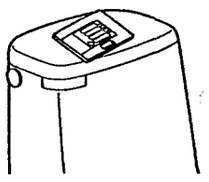


(2) リモコンを使用する位置に置き、実際に便座に座って止スイッチを押します。このとき、シャワートイレ本体より“ピッ”という電子音がするのを確認します。

5 リモコンの取付け

リモコンは、壁に固定する以外に、使用する人が手に取りやすい位置に置くか、タンクフタ等にマジックテープで固定してください。

マジックテープはリモコンブラケットとタンクフタに貼り、ブラケットからリモコンが落ちない位置に取り付けてください。

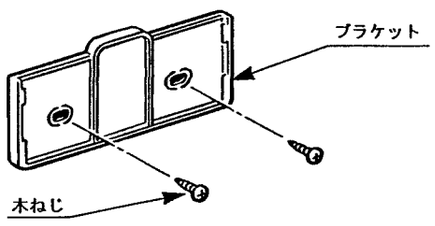


〔壁に固定する場合〕

(1) ブラケットを壁の材質に合わせた施工方法で、取付位置にねじ固定します。 注意6参照

●厚みが5mm以上の合板壁の場合

ブラケットを木ねじでしっかりと固定します。

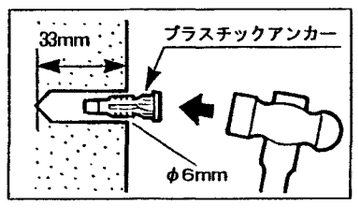


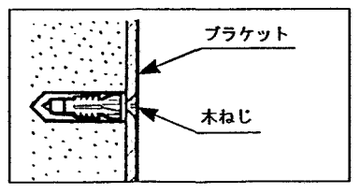
●コンクリートの場合

1 直径6mm、深さ約33mmの下穴をあけます。

2 ハンマー等を使って、プラスチックアンカーを軽く打ち込みます。

3 ブラケットを木ねじでしっかりと固定します。



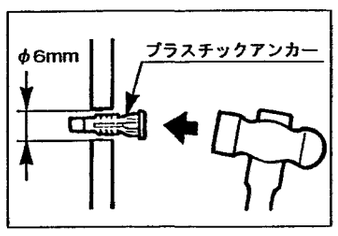


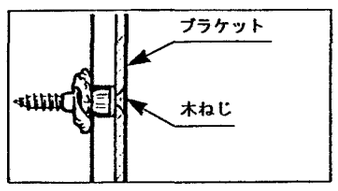
●厚みが5mm以下の合板壁および石膏ボード壁の場合

1 直径6mmの下穴をあけます。（石膏ボードは直径5mm）

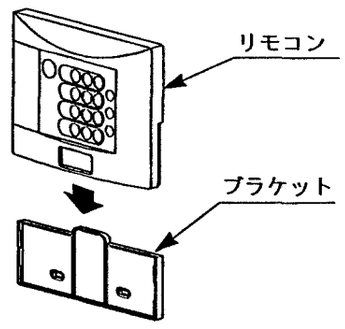
2 ハンマー等を使って、プラスチックアンカーを軽く打ち込みます。

3 ブラケットを木ねじでしっかりと固定します。締め付けていくと初めは堅く、いったんゆるくなって再び堅くなります。

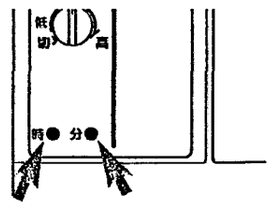




(2) リモコンをブラケットの上に合わせ、下へ押し下げてリモコンを取り付けます。



(3) リモコン副操作部の「時」スイッチを押し続けて、合わせたい数字になったら指を離します。
このときAM（午前）、PM（午後）に注意してください。
リモコン副操作部の「分」スイッチを押し続けて、合わせたい数字になったら指を離します。



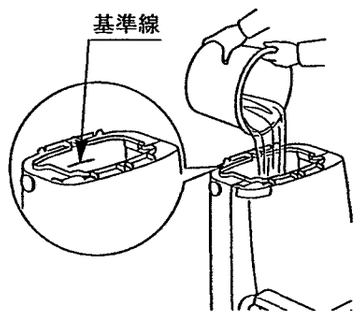
試　運　転　（施工が終ったら、次の要領で試運転を行います。）

1 水漏れ点検

1.漏水がないことを確認します。

(1) タンクのフタを開け、タンク内の基準線をこえないように、バケツ等で給水します。 注意7参照

(2) 漏水がないことを確認します。



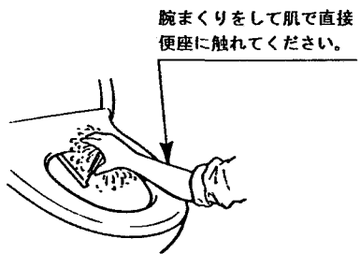
2 おしり・ビデ洗浄の確認

1.おしり洗浄を確認します。

(1) 腕を便座にのせ、おしり（パワフル）スイッチ「強」を押します。
シャワーが出るまで1分程度かかります。

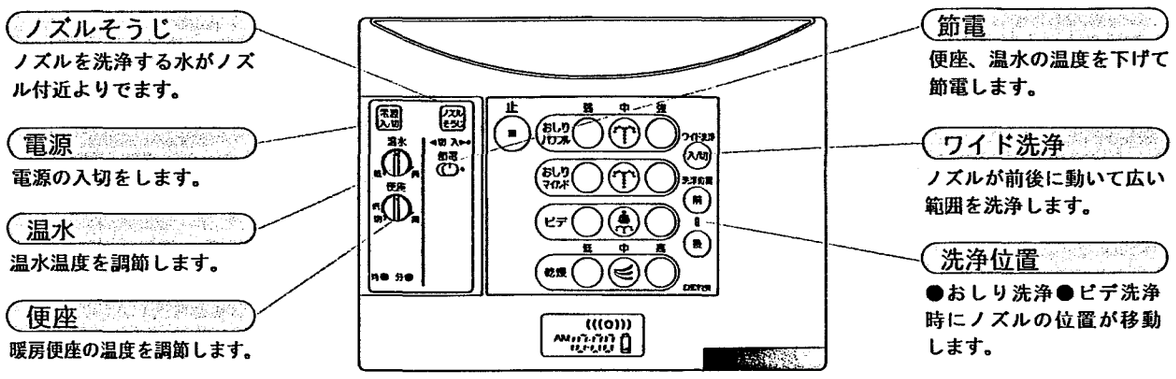
(2) ノズルが伸びてきたら、先端に手をかざしてシャワーを受け止めます。

(3) 止スイッチを押すとおしり洗浄が停止します。



※着座センサーがあるため、便座に触れていないとおしり洗浄、ビデ洗浄、脱臭、乾燥は作動しません。

2.ビデ洗浄も同様に確認します。



※脱臭スイッチはありません。便座に触れるとファンが自動的に作動します。

参考1参照

お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合は、水を抜いておいてください。

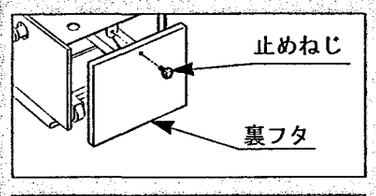
(1) 止めねじを外し、裏フタを台座から外します。

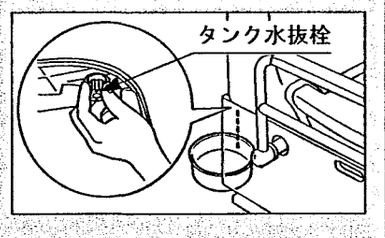
(2) 洗面器等を下に置き、タンク左下のタンク水抜栓を外してタンク内の水を抜きます。
タンク内に残った水はカップ等でくみ出し、柔らかい布等でふき取ってください。

(3) タンク水抜栓をしっかり締め付け、裏フタを取り付けます。

(4) 試運転の要領で、ノズル内の水を抜きます。

(5) 電源プラグをコンセントから抜きます。





便座の高さを調節してください。

使用される人に合わせて、便座の高さを調節してください。

(1) 便フタ・便座を開けます。

(2) 台座から専用バケツを外します。

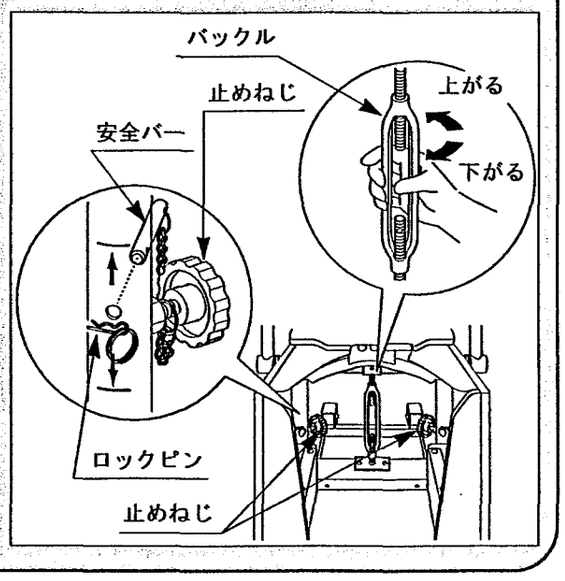
(3) 台座内側の両側にある止めねじをゆるめます。

(4) 安全バーからロックピンを外し、安全バーを外します。

(5) バックルを回して、高さを調節します。
高さは全3段階（便座までの高さ：約370、410、450mm）調節できます。安全バーを入れる穴を合わせてください。

(6) 止めねじを締め、安全バーを差し込みます。

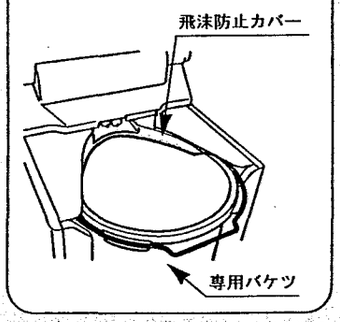
(7) ロックピンを安全バーに取り付けて固定します。



注意 3

- 専用バケツはフタをかぶせないで、台座にはめてください。
- 専用バケツの前後を間違えないようにして、はめてください。
- 飛沫防止カバーが、専用バケツのふちを覆うようにしてください。

※きちんとはまっていないと漏水します。



注意 4

- 必ず本体の施工が終了してから電源を入れてください。
- 電源ランプが点灯しない場合は、電源プラグのリセットボタンを押して、電源ランプが点灯することを確認してください。
- 便座に触れたままコンセントに電源プラグを差し込まないでください。シャワー（おしり、ビデ）が出なくなることがあります。
  シャワーが出ない場合は、便座に触れないで電源プラグを再度差し込んでください。

注意 5

- 電池のプラスとマイナスの向きを間違いのないように入れてください。
- 電池は、新しいものと古いものを混ぜて使用しないでください。
- アルカリ電池を使用してください。

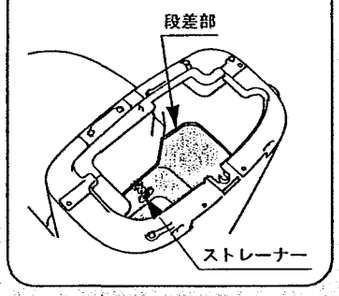
注意 6

リモコンをマジックテープで、壁に固定しないでください。

注意 7

給水は最低、ストレーナーより約10cm上（段差部）まで行ってください。

※シャワーが温水になりません。



参考1

脱臭カートリッジは、すでに商品に組み込まれています。